



CHAPTER 1

概要

この概要の構成は、次のとおりです。

- [DMS の基本的な概念と用語 \(P.1-1\)](#)
- [クライアント システムの要件 \(P.1-1\)](#)
- [DMM のモジュールと機能について \(P.1-2\)](#)

DMS の基本的な概念と用語

DMS により、あらゆる規模の組織が、IP ネットワークを経由して、一般ユーザや対象ユーザに対して、デスクトップ ビデオ コンテンツ (ライブでもオンデマンドでも)、デジタル サイネージ プレゼンテーション、緊急メッセージ、Enterprise TV チャンネルおよび番組を作成、管理、編成、エンコード、配信することができます。

DMS を使用して、次のことを実行できます。

- 対象のユーザ、投資者、マスコミ、アナリストと通信する
- ライブ イベントおよびオンデマンド イベントをあらゆる場所のユーザに配信する
- 従業員、サプライヤ、パートナーに重要な情報とトレーニングを配信する
- 学生に教育用コンテンツを配信する

最もよく使われている DMS の用語、略語、頭文字語については、Cisco.com の『*FAQs and Troubleshooting Guide for Cisco Digital Media System 4.x and 5.x*』を参照してください。

クライアント システムの要件

DMS 製品を使用するためのクライアント システムの要件については、Cisco.com の『*Release Notes for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。

DMM のモジュールと機能について

DMM の機能は、モジュールに編成されており、モジュールを使用するには、個別にライセンスを購入します。購入したモジュールに応じて、DMM を使用して次を実行できます。

- デスクトップ ビデオ ネットワークを管理し、任意の対象ユーザにビデオ コンテンツを配信する
- デジタル サイネージを管理し、Enterprise TV がネットワーク経由でそれらのコンテンツを配信する
- デスクトップ ビデオ ネットワークとデジタル サイネージ ネットワークの両方を管理する

DMM には、追加費用なしで管理モジュールが含まれており、それを使用して、他のモジュールを使用するためのライセンスをインストールできます。モジュールとそれらの機能については、以下を参照してください。

- [第 2 章「Cisco DMS コンポーネントとユーザに関する管理設定の管理」](#)
- [第 3 章「デジタル サイネージと Enterprise TV の管理」](#)
- [第 4 章「デスクトップ ビデオの管理」](#)
- [付録 A「Video Portal Reports の使用」](#)